

# 岡山地方ニ於ケル人血類型 竝ニ人種系數ニ就テ

岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室（主任皆見教授）

助手 大道直一

## 緒 言

1901年ニ Landsteiner 氏ガ健康人血球凝集反應ニ就テ研究發表以來、數多ノ學者ニヨリコレガ追試研究相次イデ起り、其種族分類法ニ至リテモ、初メハ3種屬ナリシモ、Moss, Dungern, Jansky 諸氏ハ4種屬ニ分類セリ。今日ニテハ主トシテ、一級ニコノ4種屬分類法ニ依レリ。而モ最近尙ホコレ以上ノ種屬ニ分類シ得ト稱スル人々漸次現ハルルニ至レリ。

是等ノ血液型ハ氣候、風土、食物、疾病或ハ諸多ノ藥物ニ由リテ影響セラレズ、常ニ不變一定ナル事ハ衆目ノ認ムル所ニシテ、尙ホ民族血型ノ%ガ常ニ定マレル比率ヲ有スルモノナル事モ認メラル所ナリ。

今各國人ニ就テ人血類型百分比ヲ觀ルニ、各國ニ於テ夫レ夫レ差異アルモ、大體ニ於テ歐米人ニテハ、宮路氏ノ調査ニヨレバ O (I) 43.14%, A (II) 41.37%, B (III) 10.08%, AB (IV) 5.56% ナリ。又安藤氏ノ著書ニ據ルニ、A 及ビ O 族約 40% 内外、B 族 15%, AB 族 5—10% ナリトイフ。

日本ニ就テハ之ト少シク事情ヲ異ニシ、日本内地ハ勿論、植民地ニ涉リテ、其血型ヲ檢セラレシ成績ニヨレバ、大體ニ於テ歐米人ニ比シテ B 族多キハ稱ヘラル所ニシテ、古畠氏ノ調査（日本各地ノ平均率）ニヨレバ A 族 38.87%, O 族 29.36%, B 族 20.98%, AB 族 10.2% ナリキ。即チ A 族最モ多ク、次ニ O 族、B 族、AB 族ノ順トナリ、特ニ B 族ノ歐米人ニ比シテ多キヲ思ハシム。

生物化學的人種系數ニ就キテハ、1919年ニ L. u. H. Hirschfeld 氏等ガ歐洲大戰亂後、聯合國ノ軍隊ニ就テ、其血液類型ヲ検査シ、A ト B トノ比率ヲ研究シタル結果、各人種間ニ著明ナル比率上ノ相違アル事ヲ發見シタリ。即チコノ A 類ト B 類トノ比、即チ A 凝集原所有者（A 型及ビ AB 型）ノ百分率ヲ分子トシ B 凝集原所有者（B 型及ビ AB 型）ノ百分率ヲ分母トシ、即チ  $\frac{A(\%) + AB(\%)}{B(\%) + AB(\%)}$  =  $\frac{A}{B}$  ト人種系數、又ハ生化學的人種系數 Biochemical Racial-index ト名ヅケタリ。

而シテ同氏ハ是ニ由リテ世界ノ人種ヲ3型ニ分類シ、其2.0以上ヲ示スモノヲ歐羅巴型、1.3以下ナルモノヲ亞細亞ア弗利加型ト稱シ、2.0—1.3ノ中間ニアルモノヲ中間型ト稱セリ。

其後 Verzar, Weszczky 兩氏モ、生化學的人種系數ノ比較的正確ニシテ、其祖先ヲ等シクスル人種間ニハヨク一致シ、氣候、風土、食物等ニヨリテ影響セラレザル事ヲ發表シ、我國ニテモ、深町、古畠、岸、其他數多ノ諸氏ノ認ムル所ナリ。

其後米國ノ Ottenberg 氏ハ Hirschfeld 氏等ノ分類ハ單ニ血球ノ A 凝集原ト B 凝集原トノ比率ヲ認ムルノミニシテ、A, B ヲ有セザル O 型ヲ（シカモ O 型ハカナリニ存ス）無視セル分類法ナル故ニ、宣シク O 型ヲモ考慮ニ入レテ世界ノ人種ヲ區別セザルベカラズト稱ヘ、氏ハ 6 型ニ分類セリ。即チ歐羅巴型、中間型、湖南型、印度滿洲人型、ア弗利加南亞細亞型、太平洋南亞米利加堅ノ 6 型ナリ。

尙ホ Sneider 氏ハ Ottenberg 氏ノ亞弗利加南亞細亞型ヲ亞弗利加「マレー」型トシ，尙ホ之ニ「オーストラリア」型ヲ加ヘ 7 ツニ分類セリ。

日本ハコノ中，湖南型ニ入レリ。之ニ關シテ古畠氏ハ湖南型トハ支那湖南省附近ノ住民ガ示ス血液分布率ニテ，日本人ハ此型ノ代表的ノモノナリトノ理由ヲ以テ，宣シク日本型ト改稱スペシト昨年 11 月東京ニテ開催サレタル第 3 回汎太平洋學術會議ニテ提議セラレタリ。

余ハ最近日本内地各地ノ血液型及ビ人種系數ニ就テノ報告ヲ見ルニ，我が中國地方ニ於ケルソレニツキテハ僅ニ，吳ヲ中心トセル阿部氏ノ發表ト，最近，岸氏ガ倉紡ノ女工ヲ中心トシテ 380 名ノ血類型ニ就テ發表セルニ過ギズ。余ハ最近 1250 名ノ岡山縣生レノ血類型ヲ検シ；其成績ニ就テ報告セントス。

### 成 績

第 1 表 岡山縣人ノ血液族

血 液 性 別 型 別	I O 型 (%)	II A 型 (%)	III B 型 (%)	IV AB 型 (%)	人種系數	検査人員
男	27.7	39.2	23.9	9.1		732
女	28.9	39.9	20.4	10.8		518
計	28.3	39.5	22.2	9.9	1.77	1250

全例 1250 名内男子 732 名，女子 518 名ナリ。以上ノ中ニハ當大學法醫學教室中井氏ノ提供サレタル 195 名，婦人科教室八木氏 64 名，柿沼内科教室伊藤氏 52 名ヲ含有ス。

即チ之ヲ詳述スレバ，O 型 354 名 (28.3%)，A 型 495 名 (39.5%)，B 型 278 名 (22.2%)，AB 型 123 名 (9.9%) トナル。

之ヲ更ニ男女別ニ類型ヲ見ルニ，男子ハ 732 名中 O 型 203 名 (27.7%)，A 型 287 名 (39.2%)，B 型 175 名 (23.9%)，AB 型 67 名 (9.1%) トナル。女子ニテハ，518 例中 O 型 150 例 (28.9%)，A 型 206 名 (39.9%)，B 型 106 名 (20.4%)，AB 型 56 名 (10.8%) トナル。

即チ余ノ成績ニテハ男女ヲ通ジテ A 型最モ多ク，次ニ O 型，B 型，AB 型ノ順トナル。之ヲ歐米人ト比較スルニ，B 型ノ彼ニ比シテ著シク多キヲ知ルト共ニ O 型ノ彼ヨリモ少キヲ認ム。

B 型ニ就テハ之ヲ外國人ニ見ルニ，歐洲民族ハ露人，土耳其人，「アラビヤ」人，猶太人乃至亞細亞亞弗利加人ニ比シテ B 型少ク，反対ニ A 型多キ傾向アリ。

尙ホ中井氏ノ提供アリシ囚人ノ血類型ニ就テ見ルニ，195 名中 O 型 50 名 (25.6%)，A 型 67 名 (34.4%)，B 型 54 名 (27.7%)，AB 型 22 名 (11.3%) ナリ。即チ明カニ囚人ニハ B 型ノ著シク多キヲ見ル。之ヲ文獻ニ見ルニ，Franz Schütz, Wohlisch 諸氏モ，嘗テ「キール」大學教授，助

手、學生ト囚人トニ就テ此4型ノ%數ヲ検シ之等ノ間ニ職員ニテハA型多ク、囚人ニハB型多キコトヲ明言セリ。尙ホ深町氏モ九大職員ト娼妓ニ就キテ4型ノ%ヲ報告セルニ、比較的上層階級ニ屬スル日本人ニハO型ノ多クシテ娼妓ニハB型多ク、O型少キヲ報告セリ。尙ホ余ハ最近発ノ血類型ヲ検シテB型ノ特ニ多キヲ見タリ（詳細ハ皮膚科泌尿器科雑誌ニ掲載ノ筈）。

次ニ生化學的人種系數ニ就テ見ルニ、岡山地方ニ於テハ1.77ニシテ之ヲ從來報告セラレシ日本内地ノ平均率1.55（古畠氏調査）ト比較スルニ、コレヨリ多ク、尙ホ最高ノ人種系數ヲ示スハ九州地方ノ1.83、次デ京都1.73、長野1.68、東京1.54、大阪1.52、新潟1.52、金澤1.33等ナリ。即チ九州ヨリ東北ニ向ツテ漸次低下ヲ見ル。尙ホ最近岸氏ノ岡山地方民380名ニ就テノ報告ヲ見ルニ1.75ナリ。余ノ岡山ノ系數モ1.77ナルハ、ヨクコノ間ノ消息ヲ物語ルニ足ラン。

第2表 我國ニ於ケル人血類型ニ就テ（主ナルモノノミヲ擧グ）

報告者	地名	検査人員	I O (%)	II A (%)	III B (%)	IV AB (%)	人種系數
島居	福岡	87	23.0	46.0	20.0	11.0	1.83
深町	々	170	24.1	45.3	20.2	10.6	1.82
大鑑	岡山	1250	28.3	39.5	22.2	9.9	1.77
岸	々	380	31.57	41.31	20.78	6.31	1.75
中島	京都	509	28.7	41.7	20.2	9.4	1.73
原小林	名古屋	353	24.2	40.5	15.8	19.5	1.70
桐鳳白	臺灣アミ族	236	27.1	41.1	18.6	13.2	1.70
河石古橋	飛騨	1002	43.8	33.2	18.8	4.2	1.63
桐原白	沖縄本島	262	23.7	37.2	19.3	9.8	1.61
松原	仙臺	151	32.5	37.0	19.2	11.3	1.58
々	々	468	29.1	39.7	21.6	9.6	1.58
二宮	々	642	29.4	39.3	21.5	9.8	1.56
白井	東京	317	31.5	37.5	21.5	10.4	1.50
中島	々	501	31.1	38.5	22.4	8.0	1.54
河石古橋	名古屋	1161	28.0	39.8	21.6	10.6	1.55
小山田	大阪	560	28.2	39.2	22.3	10.1	1.52
宮路	新潟	1786	30.23	37.85	22.45	9.47	1.48
阿部	吳	353	30.31	38.24	24.36	7.08	1.44
桐原白	糸満人	134	28.6	35.7	21.9	13.8	1.34
古畠	金澤	775	26.2	36.0	23.4	14.4	1.33
桐原白	臺灣本島人	234	42.7	19.1	20.9	7.3	1.30
々	宮古島	150	42.7	26.0	24.0	7.3	1.06
々	臺灣アミ族	231	37.2	26.0	24.2	12.6	1.06
々	朝鮮(京畿地方)	311	27.3	32.8	32.8	7.1	1.00
二宮	北海道アイヌ族	205	19.1	32.7	34.5	13.7	0.98
桐原白	石垣島	200	28.5	32.0	33.5	11.0	0.96
々	朝鮮(平安地方)	354	30.5	27.4	34.5	7.6	0.83
々	臺灣パイワン族	80	52.5	8.7	37.5	1.3	0.26

岡山地方ニ於ケル人種系數ノ位置ハ、Hirschfeld 氏ノ中間型、Ottenberg 氏ノ湖南型、古畠氏ノ日本型ニ一致セルモノニシテ、更ニ民族東漸ヲ思ハシムル位置ニ在リ。

最後ニ吾ガ植民地ニ於ケル人種系數ノ報告ヲ基礎トシテ觀察スルニ、朝鮮ニテハ（桐原、深町氏等ニ據ル）、南鮮ニテハ 1.41 ヲ呈スルモ、北上スルニ從ヒ、1.26—1.0—0.83 ト漸次低下シ、滿州ニ入リテ奉天附近ニテハ著シク低下シ、全然日本ノ生化學的人種系數ニ相異セリ。即チ比較的日本内地ニ近キ南鮮ニテハ日本内地ノソレニ接近シ、内地ヲ遠ザカルニ從ツテ人種系數ノ差異アルハ兩者ノ血液混淆ノ度ノ稀薄ナルヲ示セルモノナリ。更ニ我國ノ南沖繩 1.61、糸満 1.3、石垣島 0.96 ト南下スルニ從ヒ、人種系數ノ低下ヲ示スモ、臺灣ニテハ、「タイヤル」族ハ 1.63、「アミ」族ハ 1.7 ニシテ、内地人ト近似ノ系數ヲ示ス。尙ホ北海道ニテハ、「アイヌ」族ノ人種系數ハ 0.98 ニシテ、明カニ日本人ノソレト大差アルコトモ人種上興味アリ。即チ日本人種ト系數ノ近似ヲ示スモノハ、朝鮮南部在住ノ朝鮮人及ビ支那中部湖南省附近ノモノト、生蕃人中、「タイヤル」族、「アミ」族等ナリ。而シテ朝鮮ニテハ北上スルニ從ヒテ、人種系數ノ日本人ノソレニ比シテ尠キヲ認ム。

### 結 論

1. 岡山地方ニ於ケル血液類型%ハ O 型 28.3, A 型 39.5, B 型 22.1, AB 型 9.9% ナリ。
2. 岡山地方ニ於ケル血液類型ハ、内地各所ノ類型ト略ボ等シク、歐米人ニ比シテ B 型多キヲ認ム。
3. O 型ハ却テ歐米人ヨリモ尠シ。
4. 生化學的人種系數ハ、1.77 ニシテ、Hirschfeld 氏ノ中間型、Ottenberg 氏ノ湖南型、古畠氏ノ日本型ニ入ル。
5. 日本内地ノ生化學的人種系數ヨリシテ民族東漸ヲ想像ス。

擷筆スルニ當リ、終始懇篤ナル御指導ヲ賜ハリシ皆見教授ニ深謝スルト共ニ、材料ヲ提供サレシ、當大學中井氏、八木氏、伊藤氏、尙ホ採血ニ際シ種々便宜ヲ與ヘラレシ、當學事務官横田氏並ニ木村氏、岡山運輸事務所長門坂氏、岡山製纖株式會社技師長長原氏ニ感謝ノ意ヲ表スルモノナリ。（2. 9. 26. 受稿）

## 文 獻

- 1) 安部, 細菌學雜誌 321 號 400 頁. 2) 深町, 國家醫學會雜誌 430 號 579 頁. 3) Fukamachi, Journ. of immunol. Vol. 8, p. 291. 4) Fukamachi, 社會醫學雜誌 428 號 189 頁. 5) 古畠, 岸, 十全會雜誌 30 卷 9 號 632 頁. 6) 古畠, 岸, 十全會雜誌 32 卷 7 號 132 頁. 7) 古畠, 岸, 臨牀醫學 13 卷 9 號 1034 頁. 8) 古畠, 岸, Japan med. world. Vol. 4, No. 1. 9) 原, 小林, 醫事新聞 954 號 937 頁. 10) Hirschfeld, H. u. L, Lancet. Vol. 2, S. 675, 1919. 11) 相原, 白, 東京醫事新誌 2300 號 2011 頁. 12) 相原, 白, 朝鮮醫學會雜誌 54 號 128 頁. 13) Jansky, Jahresberich. f. Neurol. u. Psych. S. 1028, 1907. 14) 岸, 十全會雜誌 30 卷 11 號. 15) 岸, 十全會雜誌 32 卷 8 號. 16) Landsteiner, Wien. klin. Woch. S. 1132, 1901. 17) 松原, 日本外科學會雜誌 21 卷 8 號 443 頁. 18) 宮路, 治療及處方 5 卷 1444 頁. 19) Moss, Journ. of americ. med. assoc. Vol. 68, p. 1905, 1917. 20) 中島, 日本微生物學會雜誌 17 卷 10 號. 21) 二宮, 東京醫事新誌 2423 號 1241 頁. 22) 二宮, 東北醫學會雜誌 6 卷 3—4 號. 23) 小山田, 大阪醫學會雜誌 21 卷 12 號 1023 頁. 24) Ottenberg, Journ. of americ. med. assoc. Vol. 84, p. 1395. 25) 白井, 細菌學會雜誌 321 號 387 頁. 26) 白井, 慶應醫學 3 卷 4 號. 27) Franz Schütz, Wöhlsch, Klin. Woch. S. 1614, 1924. 28) 鳥居, 國家醫學會雜誌 421 號. 29) Verzar, Weszczky, Biochem. Zeitsch. Vol. 126, S. 33, 1921.

### *Kurze Inhaltsangabe.*

### **Die Blutgruppenuntersuchung in der Provinz Okayama.**

Von

Naoichi Ohmichi.

*Aus der Universitäts-Hautklinik in Okayama  
(Vorstand: Prof. Dr. Seigo Minami).*

Eingegangen am 26. Sept. 1927.

Unter 1250 Leuten wurde die Gruppe O in 28.3%, A in 39.5%, B in 22.1% und AB in 9.9% gefunden. Der Rassenindex ist 1.77. Diese Zahl stimmt mit dem durchschnittlichen Index (1.55) der Japaner fast überein.

Die Gruppe B ist mehr bei uns als in Europa und die Gruppe O weniger hier als dort zu finden.